

1. 本委員会の設置の目的

- (1) 平成31年第1回定例会で報告した議会改革調査特別委員会調査報告書の調査項目を実践する。
- (2) 時代に即した議会のあり方を調査研究する。
- (3) 議会定数・議員報酬のあり方について研究する。

2. 委員会の取り組み

- (1) 議会改革調査特別委員会調査報告書に基づく取り組みについて

- ①会議のあり方の見直し

分かりやすい質問と活性化を目的に、一般質問での一問一答方式の導入と町長の反問権を認めた。

- ②開かれた議会へ

a 広報編集委員の手により議会だよりの作成を行い、紙面の充実に取り組んだ。

b 住民団体等と意見交換会を行い、住民の意見を取り入れた議会運営に取り組んだ。

- ③議会情報配信の検討

a 一般質問の動画を配信して、視聴できるようにした。

- (2) 時代に即した議会のあり方を調査研究する取り組みについて

「町民に開かれた議会に」 ～伝える・聞く・話し合う～

- ①常任委員会の活動の充実

常任委員会協議会を設置し、議会の活動日を設け、活性化を図った。

- ②町の附属機関の委員との兼任の見直し

町の審議会への委員選出は、チェック機能を弱めることにつながるため合理性のあるものを除き、委員選出を見送ることとした。

- ③全員協議会の開催時期の見直し

全員協議会では、十分な協議等の時間を確保するため、開催時期の見直しを要望し、定例会の2週間以上前までに行うこととした。

- ④議会傍聴規則等の見直し

煩雑な手続きや規制事項を無くし、本会議及び委員会での傍聴に関する条例等を改正した。

- ⑤議会運営に関する見直し

- a 採決方法の見直し

議決に対する責任を明確にするために、起立採決に変更した。

b 予算・決算の審査方法の見直し

一般会計・特別会計に分かれていた予算・決算の審査を、一つの特別委員会で行うこととした。

c 議案等説明会の開催

常任委員会（協議会）での定例会前の議案説明を、議員全員で情報を共有するため、議案等説明会に改めた。

d 電子情報端末の持ち込み

議員や職員が必要な場合、ノートパソコンやタブレット等の機器の持ち込みを認めることとした。

⑥新型コロナウイルス感染症による影響調査の実施

「開かれた議会」を合言葉に、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底したうえでアンケート調査や訪問による聞き取り調査を実施した。

これらの取り組みで気づいたこと、住民の切実な声について、議員が定例会の一般質問等で取り上げた。

令和2年度・令和3年度

アンケート調査・訪問による聞き取り調査の取り組み状況

委員会名	取り組んだ内容	回答者
総務経済常任委員会	コロナ禍での事業への影響について	28軒
	緊急事態宣言下の事業への影響について	66軒
文教厚生常任委員会	一斉休校による影響について	262人
	小中一貫教育・幼児教育について	400人

⑦議員間討論の実施について

町営風力発電所の民間事業者への譲渡の件では、議員間で議論も進み、民間事業者との共同事業による風力発電所建設については、要望書をまとめた。

⑧国・県への意見書、町への要望書等の提出

新型コロナウイルス感染症対策に関する聞き取り調査や意見交換会で明らかになった課題の解決に向けて、国や県に意見書、町には要望書を提出した。また、町が進めている小中一貫教育・幼児教育についても、アンケート調査の結果と寄せられた保護者の声を町に届けた。

(3) 議員定数・議員報酬について委員会の考え

地方自治の制度は、二元代表制であり、町民から選挙で選ばれる町長と議会がその権能をもって町を運営する制度であり、議会の役割や権能を軽視し議員を削減することは、町の健全な運営を害することにつながることである。

①議員定数、議員報酬についての考え方

a 議員定数について

当面の間は、12人の定数を維持することしたい。

- ・議員定数は、人口の同規模の自治体と比較しても平均的な状況であり、近隣の町との比較でも議員定数はむしろ少ない。
- ・定数削減は、平成14年に現在の定数12人にする取り組みを他に先んじて行っている。

b 議員報酬について

見直しを提起したいが、当面は現行のとおりとしたい。

- ・議員報酬は、平成14年に月額168,000円としており、人口の同規模の自治体及び近隣の町と比較して、最も低い水準にある。
- ・水準の低い議員報酬は、若者や優れた人材の参加の障害になっており、本来は抜本的な見直しが必要である。しかし、取り組み始めた議会改革も道半ばであることやコロナ禍での町民生活も経済も深く傷ついている現在は、見直しを提起する環境にはないと考える。

c 議員定数、議員報酬の本格的な見直しについて

- ・地方議会の定員割れや定数削減による議会活動の形骸化が全国的に顕在化しているため、今後も情報を収集し分析・検討を継続する。
- ・議員定数と議員報酬の問題は、将来の議員や町の有り様にも関わることから、本格的な議員定数と議員報酬の見直しは、国等の方向性を勘案して、議会で独自性を持って検討することとしたい。

近隣市町の人口と議員定数、議員報酬の現状比較

町名	人口	議員定数	議員報酬
東伊豆町	11,307人	12人	168,000円
河津町	6,749人	11人	168,000円
南伊豆町	7,782人	11人	168,000円
西伊豆町	6,921人	11人	187,000円
松崎町	5,868人	8人	187,000円
下田市	19,819人	13人	290,000円
全国町村平均	11,562人	11.9人	213,902円

(令和3年9月1日現在・全国町村平均令和2年7月1日現在(町村議会実態調査))

(4) 議会改革度の現状

①早稲田大学マニフェスト研究所 議会改革調査部の調べ

当町の議会改革度は、

2018年 1,318議会中 1,215位

2019年 1,433議会中 1,187位

2020年 1,404議会中 637位

(参考 伊東市1,081位、下田市810位)

②委員会の活動状況(公式開催に限る)

平成30年度

議会改革調査特別委員会12回、全員協議会15回

常任委員会5回、常任委員会(協議会)8回

令和元年度

議会改革特別委員会5回、全員協議会14回

常任委員会6回、常任委員会(協議会)8回

令和2年度

議会改革特別委員会7回、全員協議会13回

常任委員会7回、常任委員会(協議会)4回

令和3年度(10月31日現在)

議会改革特別委員会4回、全員協議会9回

常任委員会0回、常任委員会協議会13回

(5) 今後の課題

町民と距離のある議会を「開かれた議会に」と一昨年より議会改革に取り組んできた。昨年、コロナ禍において議会改革をどのように進めるべきか判断に迷ったが、町民から負託を受けた議員であることから、大変な時こそ町民の声を聞こうと議員間で意思の疎通を図り、聞き取り調査とアンケート調査を実施した。

この「コロナ禍の議会改革」の取り組みは、第16回マニフェスト大賞に応募し、エントリー2,170件の中で優秀賞候補165件に選ばれた。コロナ禍で全国的に一般質問を行わない、時間を短縮する等議会の権能を制限する議会が多数生まれた中では、一定の評価を得た取り組みであった。

今後も取り組んでいく議会改革は、町民の皆さんの声を聞き、議会が有する権能を活用し、より良い選択・判断ができるように議会の活動を見直して行くことにある。議会改革によって、町民の皆さんにとって、身近で信頼される議会となるべく研鑽が求められる。

①議会の役割を見直すこと

議会は議決機関であるが、これまでは「追認の議会」と思われ、町民から不要・無駄な存在と理解されてきたと思われる。地方自治は、町民が選ぶ町長と議会が町を運営する二元代表制であるため、議会はその役割を自覚して、自治の一翼を担う取り組みが求められる。

近年の取り組みでは、町民の仕事や生活に寄り添い、その声を聞くことが、議会のエネルギーとなって、様々な取り組みにつながった。これからは、聞いた町民の声を整理して、政策としてとりまとめていく取り組みが必要である。

また、両常任委員会協議会の取り組みでは、町の情報が町民に十分に伝わっていない中で、現在の動向を伝え、保護者等の意見や要望を積極的に汲み上げてきた。デジタル化や広域化等で町の仕事の取り組み方も変わりつつある一方で、直に町民と接し、町の様々な課題を提供し、その声を聞き、共により良い判断・選択ができるよう、合意形成の中でその役割をより高めていく必要がある。

②議会改革の継続的な取り組みを推進すること

議会を変えようという思いは少しずつ目に見えるような変化になりつつある。また、議員も議会改革の取り組みを通じて議員の職責の重さ等を実感してきている。

今後の議会改革の取り組みは、議会運営委員会を中心としつつ、議会全員で取り組むことには変わりはない。責任が曖昧にならないように会

議規則等の見直しを行い、議会運営委員会の役割を明記したい。

③議会運営の役割分担を整理すること

会議規則等の改正により、常任委員会協議会を開き、協議や調整に関する活動ができるようになったが、本会議や議会全員協議会、常任委員会等、議会本来の権能を有する機関との役割分担を整理することが大事である。このことから、常任委員会協議会運営要綱等の整備について検討したい。

※本委員会報告書作成にあたっての参考資料

総務省「地方議会・議員のあり方に関する研究会 報告書」

全国町村議会議長会「町村議会議員の議員報酬等のあり方 最終報告」

早稲田大学マニフェスト研究所「議会改革チェックシート」